



第19回 京二会報告

開発部社長付マネジャー 藤野 大介

主要なお客様、仕入先様をお招きする毎年恒例の京二会を12月6日金曜日、新宿のハイアットリージェンシー東京にて開催いたしました。

今回の京二会は過去最多のお客様にご列席いただき、また、ご列席の3分の1は初めてご参加されるお客様、仕入先様だったこともあり、例年以上に弊社にとっても力のはいる京二会となりました。

ご多忙の折に京二会にご列席いただきましたこと、この一年間大変お世話になりましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

当日は、まず社長の井口宗久より、御挨拶と前期決算及びトピックスのご報告をし、今期（2014年9月期）の計画数字と取り組み方針についてご説明いたしました。

その後、弊社中国事業担当執行役員兼京二（上海）副総経理の兪箴潔が、昨年に引き続き「中国とのパートナーとしてのモノづくり」をテーマにしたプレゼンテーションを行いました。

（プレゼンテーションテーマ）

中国とのパートナーとしてのモノづくり第2弾

「新しい時代の時代のサプライヤーとして」

～従来の商社機能から

サプライヤー機能を持つ商社への転換～

まず、前回の京二会では、日本での中国工具輸入事業及び中国現地法人について立上げから事業を軌道に乗せるまでの変遷と、自身が経験した中国メーカーと付き合う上での注意や工夫などをプレゼンいたしました。

そして、今回は前回の内容から更に一步踏み込んで、中国で活動するローカル商社の現状と問題

点、日系の商社に何が求められているのか、その上で京二（上海）をどのような方向性で進めていく方針なのかを中心にプレゼンいたしました。

＜中国商社の現状＞

まず、中国のローカル商社は概して、商品を右から左へと転売するだけで商品知識がなく、また、お客様への態度も悪く、販売した商品に対し責任を持たずアフタフォローを全くしないなど日本では考えられないような現状となっています。また、物流においてもメーカー出荷から納品までの間に商品を紛失する、商品そのものも偽物が横行しているなど多くの問題を抱えており、「商社」に対して非常にお困りのお客様が非常に多い状況です。

①京二（上海）での取り組み

上記のようなローカル商社の現状に対して、京二（上海）では特に下記項目を強化して活動しています。

- 1、物流リスクを解消する
- 2、発注ミスを防ぐ
- 3、緊急事態への対応を強化する

これらのことは日本でも当然なされていることですが、中国では日本以上に念入りに商品や状況などを踏まえて正しい物流会社の選択と使い分けをしており、誤納品を防ぐために二重、三重のチェックも行っています。また、お客様や仕入先の生産変化やクレーム発生などの緊急事態に備え



て、同じ商品でも常に信頼できる複数の仕入先（メーカー、卸問屋）を確保し安定供給体制の構築をすることに特に力をいれて活動しています。

②京二（上海）での商社マンの育成方針

（営業マンの目力を育成する）

第一ステップ メーカーの能力を見極める

技術力、製造能力、検査体制 等において得意な事柄、不足している能力をよく把握し、間にはいる京二（上海）はそれを補完する動きをしなければならない

第二ステップ お客様のニーズを見極める （把握する）

商品の調達目的、ロットや納期の要求、製造における難点などをとにかく顧客オリエンテッドな考えと視点でお客様のニーズをきちんと把握する

第三ステップ 正確なマッチングを行う

第二ステップの上で、お客様との共同調査の上でメーカーのマッチングを行う

製造ロットはお客様の要求に合わせられるか、お客様が要求する管理体制が日々実現できるか、その製品製造に熟練工が確保できるかなどの更に詳細な擦りあわせを行う

お客様から任せていただける商社になるために、以上のような「営業マンの目力の育成」を行い、



お客様とメーカーと京二の3社で強固な信頼関係を築く取組みを行っています。

③京二（上海）のこれからの方向性

➡今までの個々の縦型営業から横型営業、日中の両工場への展開を強化する

- 工具の成功事例など情報の共有化を進め日中両方のお客様の共同開拓を目指す
- 中国で実績のある優良製品を日本国内のお客様へ展開する
- 継続的に技術習得（図面・精度・クレーム対応・納期管理・物流管理）を行っていく

また、細かなことですが、日本以上にスピードが求められる（せっかちな？）中国のお客様に対応するためにスマートフォンやメールを活用しスピードアップを図ること、社内方針を明確にし、それを全従業員に順守させることなど、身近な小さな工夫も徹底し、仲介業ではないサプライヤーとしてお客様に認知していただけるような企業を目指して活動しています。

ユのプレゼンテーションの後は、ご列席の皆様からは中国市場や中国でのモノづくりについて活発なご意見やご質問、ご感想を頂き、盛況のうちに第19回京二会を終えることができました。